

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成28年5月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

この度の熊本を中心とした震災で被害に遭われた受講生の皆様に、
謹んでお見舞いを申し上げます。

診療情報管理士としての原動力

大井 晃治

旭川医科大学 病院事務部 経営企画課 診療情報管理係長

平成12年の診療報酬改定により、診療情報管理に対する診療報酬の加算が初めて認められ、診療情報管理士に対する関心が高まりました。私はその前年の平成11年に診療情報管理士の認定を取得しました。通信教育を受講しながら認定試験に取組んだ一人です。

当時はクリニックで医事業務を行っていましたので、診療情報管理業務がどのようなものかイメージできないままレポートに取り組んでいました。このような中、スクーリングに参加し医療の現場で活躍している医師や診療情報管理士からの講義を受け、現場でのエピソード等を聞きながら、記録を残すことの重要性や診療記録を適切に管理することの大切さを教わりました。どの講師からも強い意欲と情熱を感じ、その言葉が自分の心にスッと入り、また大変共鳴したことを憶えています。そこから、診療情報管理という業務に強い関心を持つようになりました。診療情報管理業務を通じて医療機関の発展に貢献できると強く感じたものです。そのときの想いは、今も日々の業務における原動力になっています。

本院における最近の5年間の取組みを振り返ると、平成23年に国立大学附属病院長会議が策定した病院評価指標について、本学の取組みを数値と経年変化をふまえた自己点検評価とともにホームページに公開しました。また、同年の施設基準等適時調査、平成25年に特定共同指導を経験し、保険診療の根拠としての診療録記載の整備に取り組んできました。退院時要約の作成については、施設基準等適時調査において厳しい指摘を受けましたが、その後、医師の協力を得ながら改善に取り組む、特定共同指導では指摘事項なく終えることができました。また平成26年の電子カルテ導入に際しては、医療文書や他院画像情報等の電子保存について担当し、その際、各科独自の様式で作成されていた退院時要約や手術記録の標準化にも取組みました。平成27年は病院機能評価の受審があり、診療記録監査の開始、退院時要約や手術記録の必須入力項目の設定等診療記録の質向上への取組みを始めました。本年は、臨床研修医の診察記事記載に対して指導医のカウンターサインが電子カルテにおいて実施されているか点検を開始しました。現在、院内統一の略語集の作成、電子カルテの閲覧制限機能導入等について検討を行っているところです。

診療情報管理士が担当する分野は広がっています。所属される機関、部署において診療情報管理業務の整備を推進して行かれるよう皆様のご活躍を期待しています。

